



平成29年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月2日

上場会社名 立川ブラインド工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7989 URL http://www.blind.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)立川 光威  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)蓮井 隆之 (TEL)03(5484)6142  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月2日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第3四半期の連結業績(平成29年1月1日~平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	29,549	1.2	2,884	27.4	2,914	29.7	1,815	30.6
28年12月期第3四半期	29,199	2.5	2,264	29.7	2,248	26.7	1,390	48.9

(注) 包括利益 29年12月期第3四半期 2,076百万円(101.5%) 28年12月期第3四半期 1,030百万円(△11.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第3四半期	93.31	—
28年12月期第3四半期	71.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第3四半期	49,930	37,264	66.1
28年12月期	49,165	35,526	63.6

(参考) 自己資本 29年12月期第3四半期 32,981百万円 28年12月期 31,266百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	5.00	—	10.00	15.00
29年12月期	—	5.00	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	10.00	15.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 28年12月期 期末配当金の内訳 普通配当5円00銭 特別配当5円00銭  
 29年12月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当5円00銭 特別配当5円00銭

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日~平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,700	3.4	3,200	11.6	3,250	11.2	1,950	12.0	100.21

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

29年12月期3Q	20,763,600株	28年12月期	20,763,600株
29年12月期3Q	1,304,382株	28年12月期	1,303,486株
29年12月期3Q	19,459,746株	28年12月期3Q	19,460,419株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する情報	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなか、各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調が続きましたが、消費マインドに力強さを欠くなど、先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループ関連の建設・住宅業界においては、住宅ローン金利の低下や住宅取得支援策などにより、緩やかな持ち直しの動きが見られたものの、回復ペースは鈍化しており、厳しい環境が続きました。

このような環境の下、室内外装品関連事業においては、顧客満足度の高い製品の開発および新製品の市場浸透を促進するとともに、コスト低減活動や生産性の向上を継続し、収益改善に取り組んでまいりました。

また、駐車場装置関連事業においては、主力製品である『パズルタワー』に重点を置いた営業を図り、コスト競争力の強化を推進し、収益改善に努め、減速機関連事業においては、保有技術を活かした製品開発に取り組み、特殊製品による成長分野への積極的な提案営業を行い、受注獲得に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は29,549百万円（前年同期比1.2%増）、営業利益は2,884百万円（前年同期比27.4%増）、経常利益は2,914百万円（前年同期比29.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,815百万円（前年同期比30.6%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### [室内外装品関連事業]

スラット（羽根）中央部の穴をなくし両端部のみに設けたことで、直射光の侵入を低減するとともにスラットが折れにくくなったヨコ型ブラインド『シルキーシェイディ』を発売したほか、生地巻き取り部などを隠して直射光を遮る「シールド」を装備したロールスクリーン『ラルクシールド』に、製品本体と「シールド」の端部を覆う「サイドカバー」を標準装備し、意匠性を向上させました。

また、高い遮蔽性を持ち、ワンタッチ操作でブラインドがゆっくりと下降する機能「RDS（減速降下機能）」を搭載したヨコ型ブラインド『パーフェクトシルキー』など、付加価値の高い製品の開発・販売に注力し、顧客満足度の向上と市場拡大に取り組むとともに、全国において新製品発表会を開催し、新製品等の早期市場浸透に取り組んでまいりました。

以上により、売上高は25,055百万円（前年同期比0.4%増）となり、営業利益につきましては、コスト低減活動等による収益改善に努めた結果、2,635百万円（前年同期比24.9%増）となりました。

#### [駐車場装置関連事業]

新築案件の受注が堅調に推移したことにより、売上高は2,073百万円（前年同期比2.7%増）となりました。営業利益につきましては、資材価格等の上昇傾向が続くなか、継続的な選別受注や原価低減活動等の取り組みにより、150百万円（前年同期比32.6%増）となりました。

#### [減速機関連事業]

設備投資動向が堅調に推移するなか、特殊減速機関連分野における受注が堅調に推移し、売上高は2,420百万円（前年同期比9.2%増）となりました。営業利益につきましては、継続的な原価低減活動等の取り組みおよび利益率の高い特殊製品が伸長したことにより、98百万円（前年同期比139.6%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は49,930百万円で、前連結会計年度末と比較し765百万円の増加となりました。

### (資産)

流動資産は32,626百万円で、前連結会計年度末と比較し862百万円の増加となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が減少した一方で、現金及び預金が増加したことによるものであります。

固定資産は17,304百万円で、前連結会計年度末と比較し97百万円の減少となりました。これは主に、保有株式の時価の上昇により投資有価証券が増加した一方で、有形固定資産が減価償却により減少したことによるものであります。

### (負債)

負債は12,665百万円で、前連結会計年度末と比較し973百万円の減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金、未払金が増加したことによるものであります。

### (純資産)

純資産は37,264百万円で、前連結会計年度末と比較し1,738百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により増加したことによるものであります。なお、自己資本比率は66.1%と、前連結会計年度末と比較し、2.5ポイントの増加となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、経済政策や金融政策の効果等を背景に、緩やかな回復に向かうことが期待されますが、当社グループ関連の建設・住宅業界におきましては、個人消費の低迷や住宅着工の見通しなど、先行き不透明感が続くものと予想されます。

このような環境の下、室内外装品関連事業におきましては、お客様の視点に立った新製品開発や営業活動、リフォーム需要の獲得強化、非住宅市場での拡販および収益力の強化に取り組むことで既存事業領域を深耕していくとともに、ホテル需要や海外市場等、成長分野への取組みを強化することで、さらなる売上拡大・収益確保に努めてまいります。駐車場装置関連事業におきましては、主力製品「パズルタワー」の物件獲得に注力し、付随する改造・改修、メンテナンス需要を獲得してまいります。減速機関連事業におきましては、当社が強みとする特殊減速機を中心に積極的な提案営業を展開してまいります。

これらを踏まえ、平成29年12月期の通期の連結業績予想につきましては、現時点において平成29年2月7日に公表しました予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### (4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,578,280	11,860,900
受取手形及び売掛金	14,673,552	14,250,276
商品及び製品	613,535	595,571
仕掛品	1,313,861	1,348,886
未成工事支出金	105,363	151,269
原材料及び貯蔵品	3,381,360	3,410,052
その他	1,114,075	1,026,402
貸倒引当金	△15,859	△16,818
流動資産合計	31,764,169	32,626,540
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,068,546	13,100,942
減価償却累計額	△8,752,971	△8,955,720
建物及び構築物(純額)	4,315,574	4,145,221
土地	7,396,065	7,396,065
その他	14,937,694	15,008,420
減価償却累計額	△13,705,566	△13,820,949
その他(純額)	1,232,128	1,187,470
有形固定資産合計	12,943,769	12,728,757
無形固定資産	261,934	269,510
投資その他の資産		
投資有価証券	2,150,947	2,282,805
退職給付に係る資産	314,648	346,509
その他	1,922,412	1,871,096
貸倒引当金	△192,561	△194,598
投資その他の資産合計	4,195,446	4,305,812
固定資産合計	17,401,150	17,304,080
資産合計	49,165,319	49,930,620

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,388,428	6,186,335
未払法人税等	700,170	572,018
賞与引当金	210,308	649,139
役員賞与引当金	71,415	52,622
製品保証引当金	12,193	8,118
工事損失引当金	3,425	-
その他	2,577,860	1,511,537
流動負債合計	9,963,800	8,979,771
固定負債		
役員退職慰労引当金	336,409	348,624
退職給付に係る負債	3,266,021	3,270,508
その他	72,699	66,959
固定負債合計	3,675,130	3,686,091
負債合計	13,638,931	12,665,863
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,475,000	4,475,000
資本剰余金	4,395,016	4,395,016
利益剰余金	23,110,538	24,634,370
自己株式	△668,179	△669,152
株主資本合計	31,312,375	32,835,235
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	522,366	621,276
繰延ヘッジ損益	5,983	5,042
為替換算調整勘定	40,760	44,682
退職給付に係る調整累計額	△615,090	△524,663
その他の包括利益累計額合計	△45,979	146,337
非支配株主持分	4,259,992	4,283,184
純資産合計	35,526,387	37,264,757
負債純資産合計	49,165,319	49,930,620

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
売上高	29,199,386	29,549,512
売上原価	16,643,677	16,631,264
売上総利益	12,555,708	12,918,248
販売費及び一般管理費	10,290,845	10,033,929
営業利益	2,264,863	2,884,318
営業外収益		
受取利息	1,654	860
受取配当金	33,868	30,376
不動産賃貸料	23,925	26,963
その他	56,824	49,994
営業外収益合計	116,272	108,194
営業外費用		
支払利息	12	13
手形売却損	1,204	-
売上割引	60,648	61,820
為替差損	61,695	6,283
その他	9,424	9,607
営業外費用合計	132,985	77,725
経常利益	2,248,150	2,914,788
特別利益		
固定資産売却益	418	359
厚生年金基金解散損失引当金戻入額	123,325	-
特別利益合計	123,744	359
特別損失		
固定資産除売却損	16,375	911
特別損失合計	16,375	911
税金等調整前四半期純利益	2,355,519	2,914,236
法人税、住民税及び事業税	906,311	1,039,441
法人税等調整額	9,283	△14,088
法人税等合計	915,594	1,025,352
四半期純利益	1,439,924	1,888,884
非支配株主に帰属する四半期純利益	49,663	73,152
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,390,261	1,815,731

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	1,439,924	1,888,884
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△403,180	90,895
繰延ヘッジ損益	△8,543	△940
為替換算調整勘定	△42,367	3,922
退職給付に係る調整額	44,427	93,634
その他の包括利益合計	△409,664	187,511
四半期包括利益	1,030,260	2,076,395
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,032,177	2,008,049
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,916	68,346

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	24,963,827	2,018,905	2,216,653	29,199,386	—	29,199,386
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	59,490	59,490	△59,490	—
計	24,963,827	2,018,905	2,276,144	29,258,877	△59,490	29,199,386
セグメント利益	2,110,289	113,657	40,915	2,264,863	—	2,264,863

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	25,055,711	2,073,078	2,420,722	29,549,512	—	29,549,512
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	77,660	77,660	△77,660	—
計	25,055,711	2,073,078	2,498,382	29,627,172	△77,660	29,549,512
セグメント利益	2,635,534	150,759	98,024	2,884,318	—	2,884,318

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。